

未来を担う若者が鋭く質問



発言を求めて挙手



議長を務めた八巻文香さん



投票で議長を選出

中学生に議会の役割や仕組みを学んでもらい、市政に対する関心を深めてもらうと「中学生議会」が8月18日に市議会議場で開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を図りながら、参加校を例年の約半数とし、市内5つの中学校から代表11人が出席。議長選挙で選ばれた議長役の生徒の議事進行により、地域の身近な問題から市の将来に関することまで、中学生の視点からさまざまな質問が出されました。今回は各議員の主な質問とそれに対する答弁の一部を紹介します。

市の再生可能エネルギーに関する施設について

下総みどり学園

市で管理している再生可能エネルギーを使って発電する施設は、どの程度あり、どのように活用していますか。

【市長】市では、下総みどり学園をはじめとした市内の小中学校や保育園、消防署などの23施設に太陽光発電を設置し、発電した電気は各施設で使用しています。また、成田富里いずみ清掃工場では、木の枝や生ごみなど、バイオマスを含むごみを高温で



答弁のために挙手をする小泉市長



堂々と質問する

溶かす際に発生する熱エネルギーを利用するバイオマス発電を行っています。発電した電気は清掃工場で使用するとともに、本市、香取市及び民間事業者の共同出資により設立した地域電力会社を通じて、市役所や公民館、公園などで使用しています。市では、昨年11月に2050年までにCO₂排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しており、脱炭素社会の実現に向けて、今後も再生可能エネルギーの利用を推進していきます。

伝統的な成田の祭りについて

久住中学校

成田市には、お祭りやイベントが多くありますが、オーバーツーリズム問題を背景にした観光客のマナー問題について、どのような対策をしていますか。

【市長】観光客の増加による、ごみのポイ捨てなどのマナー問題や道路渋滞の深刻化が旅行者の満足度の低下を招くオーバーツーリズムの状態に、本市はまだ至っておりません。しかし正月や成田祇園祭など、一時的に周辺道路の渋滞や表参道での混雑がみ

られることから、成田市観光協会や成田商工会議所、成田山新勝寺のほか、成田警察署、成田交通安全協会などとの協力体制により、交通誘導や雑踏警備などの対策を実施しています。また、今年の正月は、分散参詣を推進するため、YouTubeで混雑状況をライブ配信しました。このほかにも、各種イベント時には表参道を中心に交通規制を行い、観光客の安全確保や混雑緩和に努めるほか、日本たばこ産業(株)が中心となり、観光客参加型の清掃活動を実施するなど、観光客のマナー向上も同時に図っています。今後も関係団体と協力・連携を図り、観光客の受け入れ環境の整備に努めていきます。

市内の空き家について

成田中学校

市では、空き家問題について、どのような対策をしていますか。

【市長】空き家の増加による景観の悪化や犯罪リスクの高騰など、空き家が及ぼす悪影響は、市でも認識しています。しかしながら、空き家は建物の所有者が管理するものであり、市が独自の判断で解体工事や草木の管理な

どを行えないため、空き家の数は思うように減っておりません。このような状況から、平成30年3月に「成田市空き家等対策計画」を策定し、市民から空き家に関する苦情や通報があった場合は、所有者などに空き家の適切な管理のための情報提供や助言を行うほか、空き家バンクを開設し、物件の活用を促進を

図っています。また、空き家の適切な管理について、広報なりたや市ホームページで情報提供するほか、空き家の所有者に税の通知を送付する際に、啓発文を記載したチラシを同封しています。今後も安全・安心で暮らしやすいまちづくりのため、空き家対策を効果的に実施していきます。



出席した中学生議員(敬称略)

玉造中学校…うんの 咲野 しおりの 汐梨、かとう 加藤 ひなた ひなた
下総みどり学園…ぐんじはやと 郡司 隼、いいた 飯田 ゆうづき 悠月
久住中学校…ひめの 姫野 もも、やまぐち 山口 りさ 莉裳

成田中学校…ひらた 平田 りお 莉央、まつうら 松浦 こまち 小町
中台中学校…みやざき 宮崎 そら 颯良、たかはし 高橋 ゆうき 佑己
八巻 あやか 文香



追加の質問を求めて挙手



真剣な表情で



市長講評

中学生議員からの質問に答える小泉市長

中学生議員の皆さんからの質問は、現在本市が直面している課題や、安全・安心な市民生活を求めた意見であり、本当に素晴らしい質問であったと思います。

また、本市の未来について一生懸命に考えてくれているという熱意が伝わり、大変うれしく、心強く思っています。皆さんからいただいた貴重な質問や提言は、私のモットーであります「住んでよし 働いてよし 訪れてよし」の生涯を完結できる空の港まちなりたの実現に向けて大いに反映し、また今後の成田の発展のために役立てていきたいと思えます。

先日開催されたオリンピックで大変心に残っている場面があります。それは、スケートボード競技に出場した皆さんと同年代の岡本碧優選手です。岡本選手は、このまま競技を終えれば銅メダルは堅いと思われた場面を、さらに高みを目指して挑戦しました。残念ながら失敗してしまいましたが、この果敢な挑戦はスポーツマンシップの極みであったのではないかと考えています。また、この岡本選手の挑戦に対して、ほかの選手が人種や国境を越えて大いにたたえ、切磋琢磨している姿が大変印象に残っています。

どうか、中学生議員の皆さん、何事にも果敢に挑戦をしてください。また、本日の経験が夏休みの良き思い出となるとともに、未来輝くこれからの人生に生かしていただければと思います。

市の少子高齢化対策について

玉造中学校

若い世代から高齢者まで住みやすい環境を作っていくためには、公共交通機関、特にバスの利用を促進する必要があると思いますが、市はどのように考えていますか。

【市長】市では、持続可能な公共交通機関の再構築に加え、望ましい公共交通のあり方や方向性を示す「成田市地域公共交通計画」の策定を進めています。この計画では、成田駅周辺の市街

地と郊外部との交通便利性の向上をはじめ、コミュニティバスなどの効率的な運行や環境に配慮した公共交通の構築推進など、21の施策の実施を掲げており、バスの乗り方教室や民間企業と提携した乗車券の企画、買い物バスツアーなど公共交通の利用を促す取り組みも検討しています。広報なりたで路線バスの特集記事を掲載するなどの取り組みも行ってきました。地域にとつて欠かせない公共交通を存続させるため、引き続き、バスの利用促進に努めます。

いじめ問題について

中台中学校

市で行っているさまざまなリサイクル活動について広く周知するため、今後どのような広報活動を行うのか教えてください。

【市長】リサイクルに対する啓発や学習活動を行う施設として設置したリサイクルプラザでは、家具や自転車の再生販売、年2回のフリーマーケット、リサイクル教室などを開催しています。また、市内の小学生が見学に訪れた際には、リサイクルに関心

を持ってもらえるよう、再資源化について説明しています。さらに、自治会などの団体が行うリサイクル活動について、回収量に応じて奨励金を交付し、リサイクルの推進に努めています。これらの取り組みについて、広報なりたや市ホームページへ掲載するほか、産業まつりなどのイベントでのPR、ごみ分別アプリ「さんあーる」での周知など、リサイクルに対する啓発を図っていきます。

※くわしくは市民協働課市民相談室(な20・1507)へ。